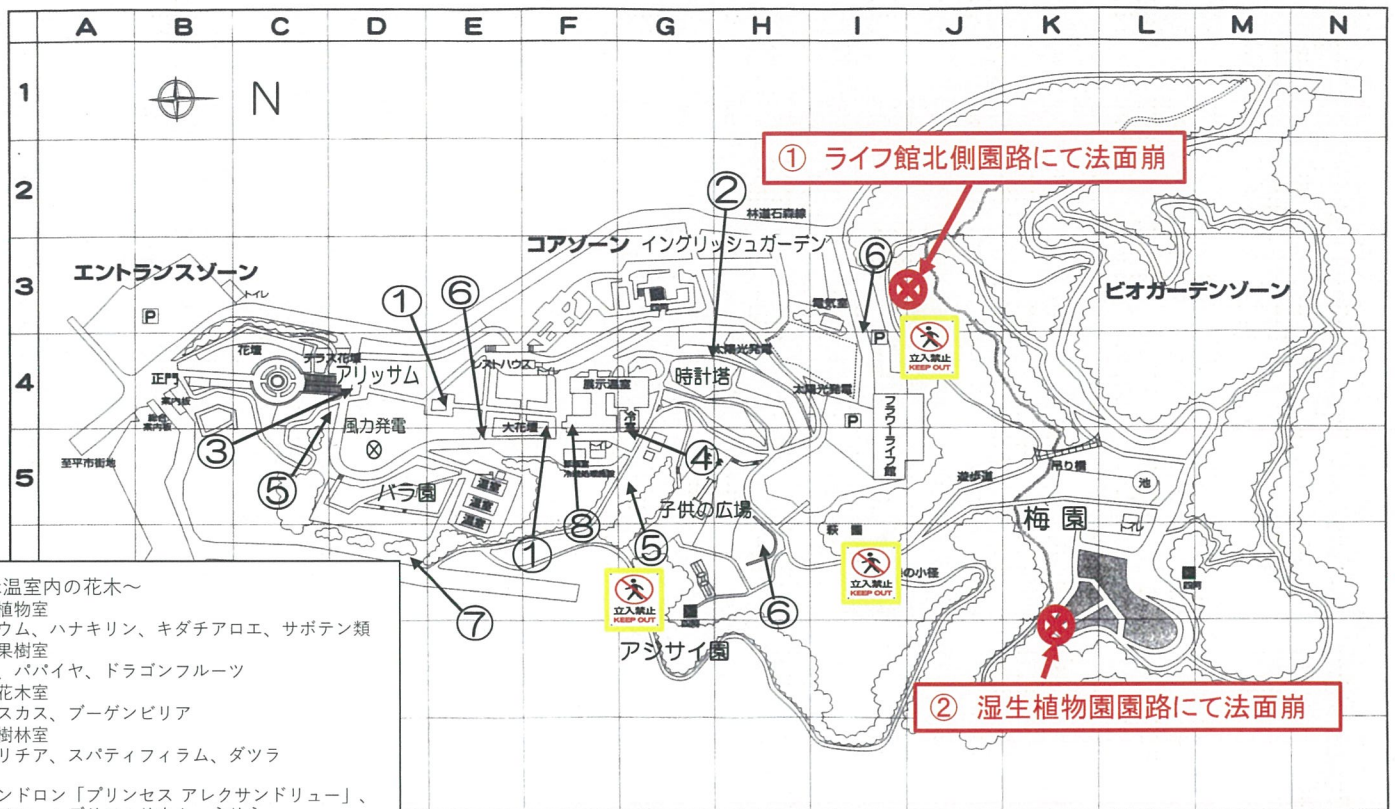


フラワーセンター【12月の花】

2019年度

※園内の植物の盗難が相次いでいます。
園内の植物は絶対にとらないでください。



～展示温室内の花木～
 ・多肉植物室
 ゼラニウム、ハナキリン、キダチアロエ、サボテン類
 ・熱帯果樹室
 バナナ、パパイア、ドラゴンフルーツ
 ・熱帯花木室
 ハイビスカス、ブーゲンビリア
 ・熱帯樹林室
 ストレリチア、スパティフィラム、ダツラ
 ・冷室
 ロドデンドロン「プリンセス アレクサンドリユ」、
 シクラメン・ヘデリフォリウム、ネリネ

①パンジー（大花壇）



スミレ科 一年草 原産：ヨーロッパ
 パンジーは数千とも言われるたくさんの品種があり、花の大きさ・色・咲き方をはじめとして途方もないバラエティーがあります。パンジーの名前はフランス語のパンセ（物思い）に由来し、花の咲いている姿が物思いにふけているように見えるところから名付けられました。

②ヒラギナンテン“チャリティー”（時計塔の脇）

メギ科 耐寒性常緑低木 原産：中国・台湾
 和風庭園の庭木として人気の品種で、チャリティーは特別な品種です。黄色の芳香のある花穂が30cm以上伸び、大変豪華です。12月頃から1月まで咲き続けます。



③ノースポール（風力発電の西側 大階段前）

キク科 一年草 原産：北アフリカ
 非常に丈夫で、冬から春には欠かせない植物。こぼれダネでよく増えます。冬の間は花は少なく、キクのように切れ込んだ緑の葉をボール状に茂らせ、春になると、株いっぱい白い花を咲かせます。



④ネリネ（冷室）

ヒガンバナ科 多年草 原産：南アフリカ
 キラキラと輝く花びらが美しいネリネ。その光輝く花姿から「ダイヤモンド・リリー」の別名を持ちます。天に向かってまっすぐに伸びて咲くキラキラとした花はとても神秘的です。花色は、赤やピンク、紫、白などで、筋が入るものもあります。



⑤レオノティス・レオナルス（展示温室北東側・風力の南側通路沿い）

シン科 常緑低木 原産：南アフリカ
 樹高は2m程になり枝もたくさん出て全体的にボリュームがあり大型です。ライオンの耳に似ている為この名前が付いています。鮮やかなオレンジ色の花冠が印象的な花は約8cm程度の大きさで、葉の付け根に咲きます。



⑥サザンカ（園内）

ツバキ科 常緑小高木 原産：日本
 園芸品種の花色は、白のほか紅、桃ぼかしなど濃淡はさまざまです。花の形は、一重、八重、千重、獅子咲きなど、大きさも直径10cmを超える大輪から小さなものまで多彩です。



⑦ツバキ（バラ園東側他）

ツバキ科 常緑中低木 原産：日本
 ツバキは早春の花の少ない時期に咲く貴重な花です。古くから園芸品種が存在しており、現在は300を超えると言われていています。現在でも茶花や生け垣に利用され、日本では最もなじみの深い植物のひとつです。



⑧キダチアロエ（展示温室内）

ユリ科 多肉植物 原産：南アフリカ
 アロエベラと並んでポピュラーなアロエです。一般的にアロエは寒さに弱いのですがキダチアロエはアロエベラよりも寒さに強いので、葉はアロエベラよりも小さく、莖が上に伸びて行くため観賞用としても栽培されています。葉はアロエベラと同じように食べられ、薬効もあります。

